

芸術的な高校入試第 22 回

美しさ：★★★★☆☆

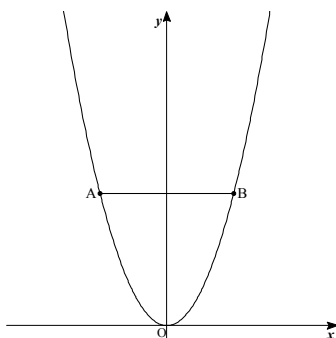
難易度：★★★★☆☆

出典：2020 年度 都立西高校

図 1 で、点 O は原点、曲線 f は関数 $y = ax^2$ ($a > 0$) のグラフである。

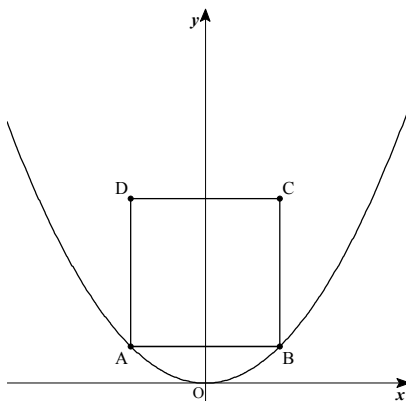
2 点 A, B はともに曲線 f 上にあり、点 A の x 座標は負の数、点 B の x 座標は正の数であり、点 A と点 B の x 座標の絶対値は等しい。点 A と点 B を結ぶ。点 O から点 $(1, 0)$ までの距離、および点 O から点 $(0, 1)$ までの距離をそれぞれ 1 cm として、次の各問に答えよ。

図 1



問 1 図 2 は、図 1 において、 $a = \frac{1}{2}$ 、点 A の x 座標を -1 とし、四角形 $ABCD$ が正方形となるように y 座標はともに正の数となる点 C と点 D をとり、点 B と点 C 、点 C と点 D 、点 D と点 A をそれぞれ結んだ場合を表している。2 点 B, D を通る直線の式を求めよ。

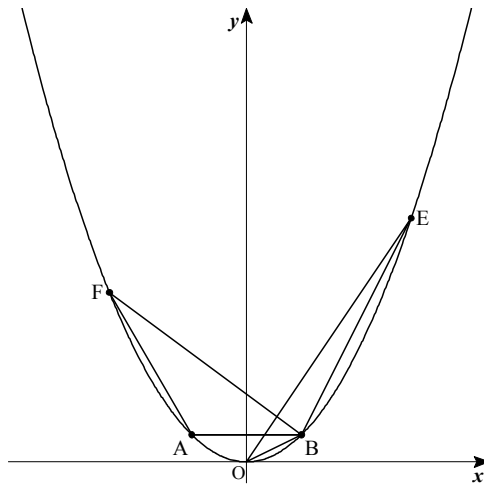
図 2



問2 図3は、図1において、点 A の x 座標を -1 とし、点 E は曲線 f 上にあり、 x 座標が 3 となる点とし、点 F は曲線 f 上にあり、 x 座標が負の数で、 y 座標が点 A の y 座標より大きい点とし、点 O と点 B、点 B と点 E、点 E と点 O、点 B と点 F、点 F と点 A をそれぞれ結んだ場合を表している。

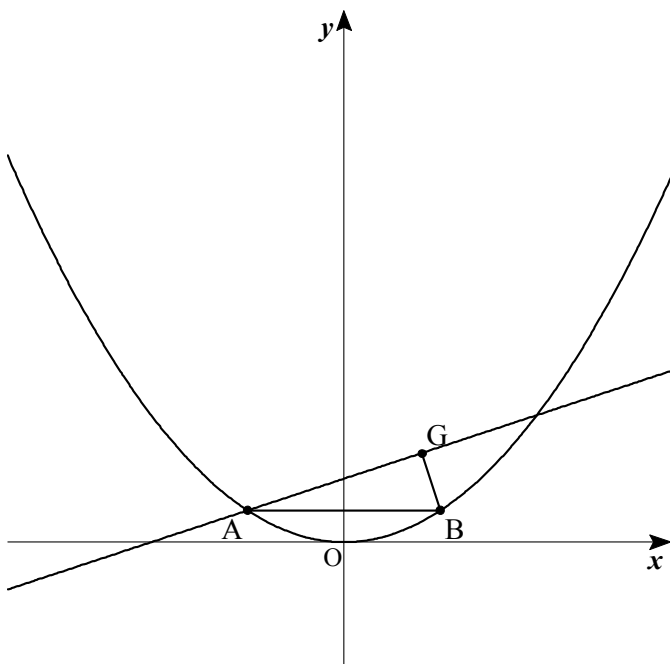
$\triangle BEO$ と $\triangle ABF$ の面積が等しくなるとき、点 F の x 座標を求めよ。ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

図3



問3 右の図4は、図1において、点Aを通り、傾きが曲線 f の式における比例定数 a と等しい直線を l とし、点Bから直線 l に引いた垂線と直線 l との交点をGとし、点Bと点Gを結んだ場合を表している。点Aの x 座標が $-\sqrt{7}$ 、 $\triangle ABG$ の面積が 7 cm^2 のとき、 a の値を求めよ。

図4



【解答例】

問 1 (7 点)

正方形の対角線なので、BD の傾きは -1

$B(1, \frac{1}{2})$ だから、求める式は、

$$y - \frac{1}{2} = -(x - 1) \quad \mathbf{y = -x + \frac{3}{2}}$$

問 2 (10 点)

$A(-1, a)$ $B(1, a)$ $E(3, 9a)$ と表せる。

直線 OB の傾きは、 a となるから、点 E を通り直線 OB に平行な直線の式は、 $y - 9a = a(x - 3)$ $y = ax + 6a$

$G(0, 6a)$ とすると、 $\triangle OBE = \triangle OBG$ (等積変形) だから、 $\triangle OBE = \triangle OBG = \frac{1}{2} \times 6a \times 1 = 3a$

$\triangle ABF$ において、AB を底辺とした高さを h とすると、

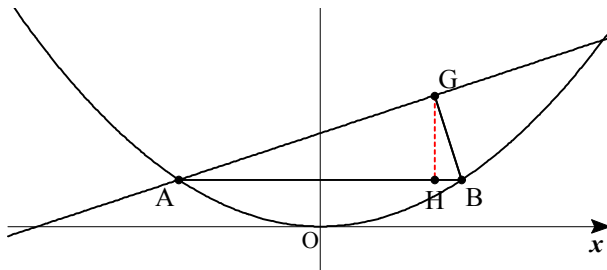
$$\frac{1}{2} \times 2 \times h = 3a \quad h = 3a$$

したがって、F の y 座標は $a + 3a = 4a$ となる。

$y = ax^2$ に代入し、 $4a = ax^2$ $a \neq 0$, $x < 0$ だから、 $x = -2$

F の x 座標は $\mathbf{-2}$

問3 (8点)



G から AB に垂線を下ろし交点を H とする。

<解法 1 一般的>

$AB=2\sqrt{7}$ cm で、AB を底辺としたとき、 $\triangle ABG$ の高さは、 $\sqrt{7}$ cm である。

$AH=t$ とすると、 $\triangle AHG \sim \triangle GHB$ だから、

$$AH : GH = HG : HB$$

$$t : \sqrt{7} = \sqrt{7} : (2\sqrt{7} - t) \quad \text{これを解いて、} \quad t = \sqrt{7}$$

$$a = \frac{GH}{AH} = \frac{\sqrt{7}}{\sqrt{7}} = 1$$

※ $\angle G=90^\circ$ 、 $AB : GH=2 : 1$ の時点で、 $\triangle GAB$ が直角二等辺三角形と気づく人もいるらしい。気づいた瞬間、 $\angle GAB=45^\circ$ と分かるので、傾き 1
<その説明>

$AB=2x$ 、 $GH=x$ 、 $AH=t$ と置くと、先ほどと同様に $\triangle AHG \sim \triangle GHB$ だから、

$$t : x = x : (2x - t) \quad x^2 = -t^2 + 2tx \quad x^2 - 2tx + t^2 = 0 \quad (x - t)^2 = 0 \quad x = t$$

となり、 $AH=HB=GH$ となるから、直角二等辺三角形。知っておくと便利？

【コメント1】

実は問3は、2012年埼玉県高校入試で同じ問題が出題されています。首都圏だったら、解いたことあるかも？ちなみに、昔このサイト

<https://hokkaimath.blog.fc2.com/blog-entry-34.html>

で悪問認定しています

「曲線の比例定数 a と同じにする」問題を解く上ではどうでもいいことです。(問題を解く上で「同じ」という条件は一切使わない)

単に「直線の傾きを求めよ」で良い気がします。どうしてわざわざこんな文面を書いたのでしょうかね。

【コメント2】

都立西受験生なら、

傾き a で、点 (p, q) を通る直線の式は、

$$y - q = a(x - p)$$

というのは、当たり前知っているのでしょうか.....。

問2で当たり前のように使っています。知らなかったら、 $y = ax + b$ として、 $E(3, 9a)$ を代入し、 b を a で表しましょう。そんなに難しくない。

【コメント3】

問3 適当に $a=1$ で書いて当たった受験生多そう。

【作成】

高校入試 数学 良問・難問 <https://hokkaimath.jp/>